

病院の実力

～神奈川編 174

今回は肺がんを取り上げる。一覧表には、2021年の手術件数など治療実績を示した。

肺は左右で計五つの「肺葉」からなる。がんは、全体に張り巡らされた気管支やその先にある肺胞にできる。大きく分けて、小細胞肺がん、非小細胞肺がんの二つのタイプがある。

治療は手術、薬物療法、放射線治療があり、がんのタイプや進み具合によっては組み

病院の実力「肺がん」 医療機関別2021年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術		薬物療法 (人)	根治的な 放射線治療 (人)
	総数 (件)	うち区域切除 (件)		
県立がんセ	368	93	245	90
聖マリアンナ医大	141	30	110	30
東海大	135	10	187	111
北里大	132	10	76	133
横浜労災	123	42	78	27
横浜市大市民総合医療セ	117	17	214	60
昭和大横浜市北部	115	16	84	42
横須賀共済	113	15	124	15
横浜市大病院	103	35	41	8
横浜市民市民	98	4	—	69
湘南鎌倉総合	81	13	88	25
市立川崎	74	6	119	15
新百合ヶ丘総合	74	18	113	59
済生会横浜市東部	69	8	153	73
済生会横浜市南部	55	2	59	26
横浜南共済	55	6	58	15
帝京大溝口	54	0	28	10
藤沢市民	46	8	54	16
日本医大武蔵小杉	44	3	20	0
昭和大藤が丘	33	1	39	12
けいゆう	32	0	30	9
横須賀市立うわまち	27	3	30	10
平塚市民	27	1	28	21
横浜市立みなと赤十字	25	2	36	9
国・相模原	25	4	1	1
大和市立	23	4	31	9
海老名総合	21	0	40	0
小田原市立	20	3	34	10
藤沢湘南台	20	1	6	0
厚木市立	19	4	18	11
湘南藤沢徳洲会	6	2	57	26
戸塚共立第1	5	1	3	0
横浜旭中央総合	4	0	1	0
聖マリアンナ医大横浜市西部	0	0	28	—
川崎市立井田	0	—	12	4
川崎市立多摩	0	0	6	0

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明

肺がん

薬で免疫機能回復も

合わせる。

手術の標準的な術式は、がんがある肺葉を丸ごと取り除く「肺葉切除」だが、早期の小さながんを対象に、切除範囲を狭めた「区域切除」や「楔状切除」が広がっている。心肺機能の低下を防ぎ、階段の昇降など日常動作を維持することを狙う。

がんが進行して転移した場合は、薬物療法が中心となる。従来のがん剤のほか、がんの遺伝子変異に応じて使う分子標的薬や、がんと闘う免疫の働きを回復させる免疫治療薬も登場し、治療の選択肢が

広がる。がんが進行して転移した場合は、薬物療法が中心となる。従来のがん剤のほか、がんの遺伝子変異に応じて使う分子標的薬や、がんと闘う免疫の働きを回復させる免疫治療薬も登場し、治療の選択肢が

広がる。がんが進行して転移した場合は、薬物療法が中心となる。従来のがん剤のほか、がんの遺伝子変異に応じて使う分子標的薬や、がんと闘う免疫の働きを回復させる免疫治療薬も登場し、治療の選択肢が

増えている。

放射線治療は、高齢者や持病のある人も受けやすく、早期ならば、根治も期待できる。多方向からがんを狙い撃ちする「定位照射」や、がんの形

や位置に合わせて照射量を調整できる「強度変調放射線治療（IMRT）」も導入されている。正常組織への放射線量を減らし、副作用を抑えることが期待されている。



県立がんセンター

齋藤春洋 呼吸器内科部長

分子標的薬で狙い撃ち

初期の肺がんは症状が乏しく、CT（コンピュータ断層撮影法）検査でなければ見つかるのは難しい。県立がんセンターには、微細ながんを検出できるCT

検査の撮影法や技術がある。初期のがんであれば手術で切除できるので、早期発見が大切だ。

ただ、進行していると手術ができないため、薬物療法に取り組み。まずは特定の遺伝子変異を持ったがん細胞を狙い撃ちする「分子標的薬」を使えるかを調べる。近年は新薬の開発が進み、現在は8種類ほどの遺伝子変異に対応できるようになった。標準的な治療で効果がない場合でも、県立がんセンターなどの治療で効果を得られるケースもある。

分子標的薬が使用できない場合、がんに対する免疫の攻撃力を高める「免疫チェックポイント阻害薬」と抗がん剤を用いる。手術でがんを切除後、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬を併用する治療も可能となった。

進行していれば、完治は難しいが、治療は急速に進歩している。患者が後悔しないように、最適の医療を提供していく。

全国の調査結果は16日の「安心の設計画」に掲載しました。